



宇陀郡曽爾村
写真提供：日本風景写真協会 奈良第二支部
支部長 吉崎喜寿 様

目次	1. 令和6年新年のご挨拶	
	奈良県土地改良事業団体連合会 会長 奥野 信亮	1
	奈良県 知事 山下 真	2
	全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 進藤 金日子	3
	全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 宮崎 雅夫	4
	2. 第45回 全国土地改良大会（福井大会）に参加	5
	3. 『農業農村整備の集い』に参加	7
	4. 『全国水土里ネット女性の会研修会』	8
	『令和5年度農業農村整備広報担当者研修会』参加	
	5. 令和6年度に向けた政策提案・要望活動	9
	6. 都道府県水土里ネット女性理事意見交換会（長野県）に参加	11
	7. 令和5年度 統合整備推進研修（会計研修）の開催	12
	8. 公益財団法人 農業振興会館 第31回美アップ農村・レディセミナー 開催	13
	9. 令和5年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会 開催	14
	10. 奈良県農村地域づくり協議会のご紹介	15
	11. 令和5年度 近畿水土里ネット連合協議会職員研修会に参加	17
	12. 「未来へつなごう！ふるさとの水土里(みどり)子ども絵画展 2023」受賞作品	18
	13. 土地改良に関する法律相談	

令和6年 年頭ご挨拶

奈良県土地改良事業団体連合会

会長 奥野信亮



奈良県土地改良事業団体連合会の皆様方に於かれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より奈良県農業の礎を支えていただき、また本会の運営に御協力を賜っておりますことに感謝申し上げます。昨年の5月には新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが2類相当から5類相当に移行され、我々の生活もコロナ前のそれに徐々に戻って参りました。今年は、まさにアフターコロナ元年ということになります。奈良県には能の「春日龍神」に出てくる猿沢池のように、龍の伝説のあるスポットが点在しているようですが、今年は「辰年」、昇り龍の持つ縁起にあやかって、良き年となるように心から願う次第であります。

さて、わが国の農業政策の基本的な方向を示すものとして平成11年に食料・農業・農村基本法が制定され、これまでの農業施策はこの法律に基づいて実施されてきました。しかしながら制定から四半世紀の時が経ち、農業と農村を取り巻く状況が大きく変化する中、昨年からは基本法見直しに向けての動きが政府・与党内で本格化しています。国内人口の減少によって市場が縮小する一方で世界では人口が増加し、農産物市場は大きく拡大する可能性があります。また新型コロナウイルスやロシアによるウクライナ侵攻によって顕在化した食料安定供給のリスクへの対応、加えて地球温暖化の影響やカーボンニュートラル時代への速やかな対応など、現在の農業には多くの課題への対策が求められています。この法律の理念には①食料の安定供給の確保、②農業の有する多面的機能の発揮、③農業の持続的な発展、④農村の振興の4つの大きな柱があるわけですが、「世界人口の増加と食糧生産の不安定化によって、いつでも、安く、食料が手に入る時代ではなくなるかもしれない」という懸念から、不測時だけではなく平時からの食料安全保障に向けての取り組みの強化、持続可能な農業を実現するための有機農業の全国的な展開、生産・加工・流通・小売の職の関係者全員での温室効果ガス削減、食品ロス削減への取り組みなどが見直しの議論のポイントとして挙げられます。また「20年後には農業者が現在の1/4になるのでは」という予測がある中、担い手の育成は言うまでもなく、農地の集積と集約、スマート農業をはじめとした新技術や新品種の導入による生産性の高い農業経営の実践が奨められています。そして農業インフラについてはICTの導入やDXにより作業の効率化を進めると同時に、用排水路などを管理しやすいものに整備し、保全管理しやすいものに整備するというハード面に加えて、農業者以外の参画を促進し、農業インフラを地域全体で維持管理していく取り組みを進めるというソフト面でのポイントも議論されています。私もこのような基本法見直しの議論の経過を見るにつけて「我々、土地改良事業団体連合会が果たさなくてはならない役割は益々大きくなっていく」と実感すると共に「しっかりと頑張らなくてはならない」と気持ちを新たに致しております。これからも全力で農業の振興と農業農村整備に努めて参りますので、本年も引き続きましての御指導を宜しくお願い申し上げます。

令和6年 新年を迎えて

奈良県
知事 山下 真



奈良県土地改良事業団体連合会会員の皆様、明けましておめでとうございます。

奈良県土地改良事業団体連合会におかれましては、昭和35年の設立以来、長きにわたり市町村や土地改良区が行う基盤整備への支援、維持管理や地域活性化に向けた取組の推進に対し厚くお礼申し上げます。

貴会におかれましては、吉野川分水をはじめとするかんがい排水事業による農業用水供給や、五條吉野の柿、大和高原の茶、平群の小菊など産地形成に関する生産基盤整備において、各土地改良区を支援いただき、奈良県の農業農村整備をけん引していただいております。

県では、農地の有効活用と生産性向上、農村地域の防災減災対策、農村振興など各種施策を一体的に進めています。

農地の有効活用と生産性向上では、特にモデルとなる地域を、市町村や地域の皆様との協定のもと「特定農業振興ゾーン」として、各種施策を集中的に取り組んでおり、現在6地区で基盤整備を実施しています。

また、地域の皆様のご努力で守り続けてきた農地を、次の世代へ引き継ぎ、利用するため、地域で話し合い、将来の地域農業の目指すべき姿や、必要な取組をまとめる「地域計画」の策定を、市町村、農業委員会と進めています。このためには、従来からの担い手のみならず、集落営農組織や地域外からの参入、女性グループなど多様な担い手が必要と考えます。

防災減災対策では、近年多発する豪雨などの災害に備え、県内971箇所の防災重点ため池の調査や整備を進めています。県では流域治水対策と連携し、ため池整備の際に、受益者のご理解・ご協力を得て、利水容量の一部を治水容量に転換していただき、雨水の流出抑制にも寄与しています。

農村振興対策としては、コロナ禍で制限された農村地域の活動を活発化させるため、昨年度より日本型直接支払制度の活用に加え、農村振興シンポジウムや活動組織の表彰制度を行っています。引き続き、農村地域の活性化に向けた取組を進めてまいります。

本県で実施する農業農村整備事業の推進には、貴会の役割がますます重要となってまいります。引き続き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、奈良県土地改良事業団体連合会会員の皆様にとって、実り多い年になりますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 進藤 金日子



新年、明けましておめでとうございます。奈良県土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、旧年中大変お世話になりました。昨年末、財務大臣政務官を拝命いたしました。本年も現場主義、地域主義に徹し、国家の発展と農業農村の振興のため全力を尽くしてまいります。本年もよろしくお願い致します。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、国民の生活も平穏を取り戻しつつあります。一方、ロシアのウクライナへの侵略は昨年も収束せず、10月にはイスラエルとパレスチナの紛争も勃発しました。

こうした状況下にあつて、エネルギー価格、小麦・とうもろこし等の穀物価格、飼料価格や肥料価格、資材価格等も概して高止まりの傾向にあり、物価上昇が国民生活を圧迫しています。

土地改良予算については、昨年11月に成立した令和5年度補正予算で1,777億円が措置され、令和6年度当初予算政府原案の4,463億円と合わせて6,240億円となり、令和5年度予算よりも106億円上回る予算を確保しました。この予算額で各地域において必要な事業を計画どおりに実施可能かどうか、現場の実情をしっかりと精査していく必要があると考えています。

さて、今年の農政における大きな課題は、食料・農業・農村基本法の改正です。政府が昨年6月に決定した「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」の具体的な施策の内容について、自民党では昨年9月から「農業基本政策」、「農地政策」、「食料産業政策」の3つの検討分科会を設置し、私も参画して少数のメンバーで議論を重ねました。昨年末には、検討結果を取りまとめ岸田総理へ提言を行うとともに、「食料安全保障強化政策大綱」の改定に当たって提言内容が反映されました。この大綱が本年の通常国会に提出される食料・農業・農村基本法改正案や関連法案、予算制度につながってまいります。

提言は、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における生産水準の維持・発展、地域コミュニティの維持」の観点から構成されており、生産基盤の維持につながる農地の確保、農業生産基盤整備と保全の推進、人材の育成と確保等、今後進めるべき主要施策を具体的に提言しています。

私は、従来から我が国の食料供給力（食料自給力）の強化に当たっては、①農地・農業用水等の農業資源の機能の維持・向上を図る土地改良対策、②農業者を確保・育成する担い手対策、③農業技術の向上を図る試験・研究、普及・生産対策を別々でなくパッケージで早急に実施することが必要と訴えています。

「食料自給力」の最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、農業者の激減が見込まれる中で農地と水の持っている機能を維持・増進する土地改良はこれまでも増して重要となります。私は、本年も土地改良予算の安定的な確保に努め、法律の整備や制度の拡充等土地改良事業の環境整備を行い、農業農村の振興に向けて更に邁進してまいります。皆様からのご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、また、貴連合会のご発展とご繁栄を祈念し、新年のご挨拶といたします。

令和6年 年頭ご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 宮崎 雅夫

輝かしい初春を迎え、奈良県土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係の皆様方へ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

近年の異常な気象状況の中で昨年も、線状降水帯の発生など、梅雨前線の停滞に伴う被害や連続する台風被害などにより、広い範囲で強風、湛水の被害、土砂災害などが発生しました。また夏場の高温被害や、渇水による水源の枯渇など農業用水が安定供給されない事態もございました。被災された全ての方々にご心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧・復興に皆様とともに力を合わせて対応してまいりたいと考えております。

皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進、土地改良施設等の適切な管理並びに厳しい状況の中で土地改良区の運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、農林水産大臣政務官を勤めさせていただいた経験のもとに、特に昨年は、私が現場でお聞きした皆様の声を進藤金日子議員とも連携しながら、国会等で発信し、皆様方からお受けした、たくさんのご要望等に対し、それぞれの地域の課題解決等に向け、全力で努力させていただきました。これらご要請を含め、昨年11月に成立した令和5年度補正予算では、農林水産関係で総額8,182億円、このうち、土地改良関係については、昨年第二次補正予算から100億円アップの1,777億円（食料安全保障強化対策160億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災、国土強靱化857億円）を確保できました、この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金の高騰に対し、増嵩分の7割を支援する制度の継続も含まれています。また、令和6年度当初予算の概算額としては、前年を上回る4,463億円が計上され、総額6,240億円となる見込みとなりました。参議院予算委員会の理事として、これから行われる通常国会で、早期成立に向けて尽力していきます。

また、今通常国会では、四半世紀ぶりに「農政の憲法」言われる食料・農業・農村基本法の改正を行う予定ですが、カロリーベースで6割超を輸入に頼る我が国の食料事情にあって、食料安全保障のあり方や環境に配慮した農業・食品産業の推進、人口減少社会での食料供給基盤の強化についてしっかり議論を進め基本法に位置付けていく必要があります。さらに国内農産物の生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向に対応するスマート農業の取組推進や農業農村関係人口の拡大などを含めて、適切に施設の保全管理が図られるようしっかりと土地改良区の運営強化を推進していくことが重要です。

私も、昨年還暦を迎えました。引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりと伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいりたい決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、奈良県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係機関の益々のご発展と皆様のご健勝を心より祈念申しあげ私の新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

第45回 全国土地改良大会(福井大会)に参加

「水土里」がある 「幸福」がある 「笑顔」がある～ふくいで語る土地改良の未来～
 みどり しあわせ



「第45回全国土地改良大会福井大会」が、令和5年10月11日(水)に、福井県のサードーム福井において、全国土地改良事業団体連合会、福井県土地改良事業団体連合会の主催で開催されました。

福井大会には、全国から約4000人の土地改良関係者が参集し、奈良県からは52名が参加しました。

オープニングセレモニーとして、マリンバとハープの演奏、和太鼓集団OTAIKO座明神のパフォーマンスがあり盛大に式典の幕が上がりました。

会場の外では福井県の物産展やパネル展示、また次期開催地千葉県PRブースなど大勢の人で賑わっていました。

式典では、山崎正昭 福井県土地改良事業団体連合会会長による開会挨拶の後、主催者挨拶では、義経賢二 全土連副会長が「この大会を通じて、土地改良の大切さを全国の皆様と共有し、発信していこう」と二階俊博全土連会長挨拶を代読されました。その後、杉本達治福井県知事等の歓迎のことは、続いて、武村展英 農林水産副大臣、進藤金日子・宮崎雅夫両全国水土里ネット会長会議顧問による来賓祝辞がありました。

土地改良事業功績者表彰式では、奈良県からは、下村雅清 大和高原北部土地改良区理事長が農林水産省農村振興局長表彰を、吉本昭藏 白川溜池土地改良区連合前理事長が全土連会長表彰を受賞されました。

最後に、福井県立大学の学生による大会宣言後、次期開催地の千葉県に大会旗が引き継がれ、式典は盛会裏に終了しました。



オープニングセレモニー
OTAIKO座明神



大会会場の様子



物産展ブース



開会挨拶

山崎正昭 福井土連会長



主催者挨拶

義経賢二 全土連副会長



優良事例紹介

川合久利子
福井土連理事



千葉土連へ引き継ぎ

◆ 農林水産省農村振興局長表彰 ◆



大和高原北部
土地改良区
下村雅清 理事長

◆ 全国土地改良事業団体連合会長表彰 ◆



白川溜池
土地改良区連合
吉本昭藏 前理事長

現地視察 10月12日(木)

足羽川頭首工は、平成28年に世界かんがい施設遺産に登録された「足羽川用水」の水源施設で、足羽川兩岸にまたがる受益面積約1,980haを抱えています。堤長103.7m、堰柱6基、ローラーゲート5門を備えた可動堰で、ゲートの巻上室は朝倉氏時代の武家屋敷がモチーフとなっています。足羽川用水は古くから地域用水としても親しまれ、頭首工の改修にあわせて、受益地内の用水路が持つ地域用水機能を維持・増進する整備も行われ、現在に至っています。



敦賀西部地区は、敦賀市近郊の受益約150haを区域とする水田地帯で、狭小湿田、軟弱地盤、かつ慢性的な用水不足を解消することを目的に基盤整備に着手しました。地域の営農組織(株)ミライスつるが気比が目指すスマート農業の導入を前提に、営農の省力化のための、自動給水栓・FOEAS(フォアス)の採用による水管理労力軽減、管理道路・管排水路の設置による草刈り労力削減、農道ターンによる作業効率向上など、様々な取り組みによる整備を現在進めています。

敦賀市体育館で概要説明を受けた後、敦賀西部地区内をバスで移動しながら、車窓から視察しました。



当連合会では、毎年、会員の皆様に全国土地改良大会のご案内をさせていただいております。令和6年は千葉県で開催されます。是非とも多くの皆様にご参加いただきたと考えておりますので、よろしくお祈いします。

『第46回全国土地改良大会』 千葉大会

開催時期：令和6年10月22日(火) 開催場所：千葉県千葉市「幕張メッセ」

『農業農村整備の集い』に参加

令和6年度当初予算の確保に向け、「農業農村整備の集い」が、全国から1,200名を超える土地改良関係者が参集し、令和5年11月7日（火）、東京都千代田区シェーンパル・サポーにおいて、開催されました。

毎年2回開催される「集い」は、農業農村整備に携わる関係者が一同に会し、現場で直面する喫緊の課題を再確認し、これらの諸課題に緊急に対応するべく農業農村整備の一層の充実と推進を期する事を目的としています。

主な来賓として、宮下一郎農林水産大臣、高市早苗経済安全保障担当大臣、森山裕衆議院議員、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問をはじめ多数の国会議員や農林水産省幹部の方々が駆けつけられました。

同じ時間に衆議院本会議が開催されていたため、はじめに、進藤金日子会長会議顧問から来賓祝辞がありました。

次に、来年度の全国土地改良大会開催県である水土里ネット千葉の小島参事が要請書を朗読し、全会一致で採択され、引き続き宮崎雅夫会長会議顧問より情勢報告がありました。

次に、根本由紀子全国水土里ネット女性の会会長より男女共同参画に係る取組の報告がありました。

その後、駆け付けていただいた、主催者である二階俊博全土連会長の挨拶、宮下大臣、高市大臣他の来賓の方々からの力強いご祝辞が続き、参加者全員による「ガンバロウ三唱」で幕を閉じました。



千葉県土連 小島参事
要請文提案



進藤金日子 会長会議顧問
来賓祝辞



宮崎雅夫 会長会議顧問
情勢報告



二階俊博 全土連会長
主催者挨拶



宮下一郎 農林水産大臣
来賓祝辞



ガンバロウ三唱



根本由紀子 全国水土里ネット女性の会会長
取組報告



高市早苗 経済安全保障担当大臣
来賓祝辞

『全国水土里ネット女性の会研修会』
参加

『令和5年度
農業農村整備広報担当者研修会』
参加

令和5年11月8日(水)、合人社東京永田ビル ビジョンセンター永田町「Vision Hall」において

全国水土里ネット女性の会研修会が開催され、全国から関係者115名が参加しました。

研修会は、全国水土里ネット女性の会根本会長（あきた水土里ネット女性の会会長）の挨拶に始まり、（一社）アンコンシャスバイアス研究所 一ノ瀬史子氏によるアンコンシャスバイアスのグループ参加型講義、ドキュメンタリー映画監督柴田昌平氏による「男女共同参画における伝えることの大切さ」の講義がありました。

その後、「研修を受けて、改めて気付いた点、日頃の業務で感じることをグループで話合いました。

令和5年度 農業農村整備広報担当者研修会が開催され、全国から関係者55名が参加しました。

始めに、全国水土里ネット 土地改良広報センター 牧所長より「この研修で、発信、伝える力の話しをして頂く。HPがなかなかリニューアルができていないので、組織として、中身の充実、解析をしながらの運営をしていくにあたって、今日の研修を参考に、HPをどのようにしていこうかと考えてほしい。」と挨拶がありました。

研修
目的

土地改良に関わる全ての人々が性別・年齢を問わず自らの能力を十分に発揮できる土地改良団体の環境づくりを行うこと

【 研修内容 】

①映像制作についての談話

講演：柴田昌平氏（ドキュメンタリー映画監督）

②ホームページについて

・事例紹介

水土里ネットながの 総務企画課 瀧澤龍 課長補佐

・HPの有効活用等広報戦略について

講師：ディプロダクト 平児玉博樹氏

会場の様子



【 アンコンシャス講義 】

アンコンシャスバイアス（以下アンコン）とは、過去の経験や見聞きしたことから無意識に“こうだ”と思い込むこと。アンコンについて、具体的な例を挙げながら、都度グループで意見を出し合った。事実から無意識の認知があり、断言していることによるマイナスの影響があることに気付くことが大切である。老若男女、立場などに関わらず人それぞれに違いがあり、自分を主語に日頃からアンコンを振り返ることが必要である。実践にあたって、「決めつけ」と「決める」は違う。などの話から、相手を尊重し対応する姿勢を持ち、アンコンを意識することで、より良い職場環境が整うのではと感じた。

【 グループワーク 】

グループ内で、主に職場でのアンコンについて話し合った。どんな課題も気付いたことに対してコミュニケーションを取ることが大切だと意見がでた。「自分以外の目線で考えることも大切であり、職場に帰ったら本日の学習を伝えてほしい。」と全国水土里ネット女性の会西副会長がグループワークを締めくくられた。

【 ①柴田昌平氏講演 】

柴田監督の作品「百姓の百の声」抜粋映像を元に自身の経験談などの話があり、広報の基本として、交流し地道にファンを増やしていくことが大切である。『農業は厳しい』というネガティブな発信ではなく、『豊』、『知恵がある』、『底力がある』といったことをアピールすれば良い。知らない人から見たら、面白い話であったりもする。など日頃自分にはない視点での話を聞くことができた。



【 ②ホームページについて 】

HPリニューアルの事例紹介として、費用の削減やサイトの表示改善、安全性が向上した、PDFをWEB上に公開することにより、検索数が増えるなどリニューアルの効果についての話があり、続いて、HPの有効活用等広報戦略については、情報を知りたい時、デジタルで情報を取りに行くのでHPは、企業間での重要性が高い。CMS対応にすることで、自分達で更新作業が可能となり、時短、コストパフォーマンスが高くなる。操作マニュアルを動画でもらうといい。といった専門家ならではの今後、HPを作成する上で参考となる講習となった。



令和6年度に向けた政策提案・要望活動

令和6年度に向けた政策提案・要望活動を、奈良県土地改良事業団体連合会、奈良県農業農村整備事業推進協議会、奈良県土地改良区連絡協議会3者合同で、令和5年11月13日（月）、14日（火）に行いました。県内市町村、土地改良区等20名が参加し、進藤金日子参議院議員（現 財務大臣政務官）、宮崎雅夫参議院議員及び奈良県選出の国会議員、農林水産省・財務省に、地域の実情を説明するとともに、予算確保に向けての要望活動を行いました。

令和5年11月13日（月）要望活動の様子



宮崎雅夫 参議院議員



佐藤啓 参議院議員



田野瀬太道 衆議院議員



農林水産省 鈴木副大臣



農林水産省 青山農村振興局次長



農林水産省 緒方整備部長

令和5年11月14日（火）要望活動の様子



進藤金日子 参議院議員(現 財務大臣政務官)



小林茂樹 衆議院議員



奥野信亮 衆議院議員



高市早苗 経済安全保障担当大臣



堀井巖 参議院議員

【奈良県の農業・農村の振興に関する提案書】

1. 基盤整備等にかかる予算確保
2. 防災・減災対策の予算確保
3. 建設資材や労務費高騰に伴う支援対策
4. 土地改良施設の保全・管理体制の強化
5. 日本型直接支払制度継続のための支援と予算確保
6. 農地・農業用施設災害復旧への支援

要請団体名

奈良県土地改良事業団体連合会	会長	奥野	信亮
奈良県農業農村整備事業推進協議会	会長	上田	清
奈良県土地改良区連絡協議会	会長	中筋	弘

都道府県水土里ネット女性理事意見交換会（長野県）に参加

令和5年11月15日(水)－16日(木)、メトロポリタン長野（長野県長野市南石堂町1346）において、全国水土里ネット・水土里ネット長野の主催による「都道府県水土里ネット女性理事意見交換会」が全国で初めて開催されました。水土里ネット奈良からは、上田美加子理事（令和4年4月就任）に参加していただきました。

都道府県土地改理事業団体連合会の理事に就任された方々に、農業・農村の現状、土地改良を進める意義などに理解を深めていただくことにより、土地改良団体の男女共同参画を始め土地改良団体の組織強化を目的としています。



会場の様子

上田 美加子 理事 プロフィール

- 夫婦で農園を経営。大和まな・いちご(古都華)を栽培し、女性従業員やパート社員、障害者雇用の育成などに積極的に参画。
- 地元小学校で大和まなの栽培方法や料理方法を教えるなど大和まなの普及および県や地域の農業振興に貢献。
- 令和2年度農業振興功績者表彰優秀賞を受賞〔公益財団法人農業振興会館〕
- 令和4年4月水土里ネット奈良の理事に就任



11/15

水土里ネット女性理事意見交換会

意見交換会には、水土里ネット女性理事が全国から22名参加されました。始めに、主催者である水土里ネットながの藤原会長より挨拶があり、続いて「食料安全と土地改良」と題し全国水土里ネット室本専務理事より講話がありました。

意見交換会に移り、水土里ネットながの白鳥専務理事より、「初めてのころみであり、十分に意見交換をしていただきたい」等の趣旨説明がありました。そのあと、全国水土里ネット室本専務理事がファシリテータを務められ、意見交換が進行されました。

参加したすべての女性理事が意見を述べられ、今後も水土里ネット女性の会のネットワークの強化や、運動の展開などのアイデアについて意見交換されました。意見交換会は、今後の女性理事のネットワークの連携を密にする第1歩となりました。

情報交換会では、全国水土里ネット会長会議顧問 宮崎雅夫氏が参加され、来賓挨拶を述べられました。



意見交換会の様子

現地研修

11/16

- 県営中山間総合整備事業 信州高山地区
- 合同会社岡木農園



合同会社岡木農園



シャインマスカット



ワイナリー



信州高山地区

情報交換会

来賓挨拶



全国水土里ネット会長会議 宮崎雅夫顧問

令和5年度 統合整備推進研修（会計研修）の開催

令和5年12月11日（月）、大和平野土地改良区3階大会議室において、令和5年度統合整備推進研修（会計研修）を開催しました。本研修は土地改良法の改正に伴い令和4年事業年度から貸借対照表の作成・公表が義務化されたことに伴い、土地改良区の資産、負債など財政状況を明確化するため複式簿記の定着化を図る事を目的として開催したものです。県内土地改良区の役職員及び関係者を含め61名と多くの参加をいただきました。冒頭、本会菅谷常務理事より県内の土地改良区の複式簿記会計の導入状況や、複式簿記の必要性、貸借対照表を活用して財務分析を行い土地改良区の健全度を知ることが大切であること、そのための研修であるとの挨拶がありました。



主催者 挨拶 菅谷常務理事



今回の研修は、第1部では複式簿記導入のための講義、第2部では導入後の講義の2部構成にしました。

第1部

- ・複式簿記の基礎知識
- ・土地改良施設の更新と積立金について

税理士法人 ゆびすいグループ
門原 慎也
奈良県土地改良事業団体連合会
参与 道具 弘伸



税理士法人 ゆびすいグループ
門原 氏

第1部では、当連合会の会計を見ていただいている税理士法人ゆびすいグループの門原氏より複式簿記の基礎知識として、用語の説明、単式簿記との違い、複式簿記の重要性、資産と負債の説明など基礎的な話と簡単な仕訳について講義がありました。次に当連合会道具参与より、当連合会が行った土地改良区の土地改良施設の資産評価データと土地改良区の巡回指導時の会計データを元に、施設の更新（再取得）費用や財政状況をとりまとめた資料に基づき土地改良施設の更新と積立金の現状の講義がありました。減価償却済の施設も多く、更新費用が積立金をかなり上回っているため、今後、さらに更新のための積立金が必要となる話がありました。



奈良土連 道具参与

第2部

- ・財務諸表等の作成手続き
- ・会計処理事例紹介
- ・財務諸表を活用した財務分析の方法

全国土地改良事業団体連合会
支援部 主査 金内 琴美



全土連 支援部 金内主査

第2部では、全土連支援部金内主査より財務諸表等の作成手続きとして土地改良区の会計の流れや具体的な仕訳の方法、決算書の注記についての説明がありました。次に会計事例の紹介として全国の土地改良区からの問題点の処理方法について紹介がありました。

最後に土地改良区における財務分析について3つの分類と具体的な19項目の指標の説明があり、自分の土地改良区の弱点を見つけることが重要であるとの説明がありました。今回の研修は基礎知識から財務分析に係る内容までの研修でしたが、参加者のほとんどの方が2部まで参加され、様々な課題を解決するため真剣に講義を受講されました。本会としても巡回指導や土地改良区相談を通じて複式簿記導入促進のため支援を続けてまいります。



公益財団法人 農業振興会館 第31回美アップ農村・レディセミナー 開催



開会挨拶 奥野理事長



来賓挨拶
奈良県食と農の振興部
乾部長



令和5年11月27日(月)、奈良市高畑町の『奈良ホテル 金剛の間』において、公益財団法人農業振興会館主催の『第31回美アップ農村・レディセミナー』を開催し、奈良県で暮らす地域の農業農村の振興のためご活躍されている女性、農業農村に関心のある女性37名が参加されました。

はじめに主催者である公益財団法人農業振興会館奥野信亮理事長より、本セミナーの趣旨等について挨拶がありました。

続いて 乾新弥奈良県食と農の振興部長より来賓のご挨拶をいただきました。



見掛加奈 講師

続いて、奈良市田原地区を中心に、畑作業のお手伝いの他、採れたての自然農法の野菜を使った料理教室など、様々な活動に取り組まれている「畑ヘルパー倶楽部」代表の見掛加奈様を講師に迎え、「**農業の可能性は女性の柔軟性から。畑ヘルパー倶楽部とは**」と題して、講演がありました。

見掛さんが取り組みを始めたきっかけ、「畑ヘルパー倶楽部」の具体的な活動内容、担い手不足を解消するための今後の展開などについて、お話いただきました。



セミナー参加者による集合写真—奈良ホテル玄関前—



講演終了後に、『大和の間』で開催された情報交換会では、来賓の村井浩副知事より、奈良県の食と農の取組みなどについてご紹介とご挨拶をいただきました。

続いて、奈良ホテルによるテーブルマナーの講習と『奈良県農村地域づくり協議会』による活動に関連する農産物加工品や取組みの紹介がありました。



来賓挨拶
奈良県 村井副知事



閉会挨拶
福井副理事長



奈良県農村地域づくり協議会のPR



令和5年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会 開催

令和5年11月27日(月)、奈良ホテル 若草の間において、令和5年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会を開催しました。奥野会長の挨拶から始まり、県より来賓として出席頂いた食と農の振興部 乾部長より挨拶を頂き、中筋副会長（西和土地改良区理事長）を議長とし、議案が審議され一部検討事項を含め承認を得ました。第1号議案では、令和5年度事業並びに会計状況の中間報告を杉井事務局長より説明があり、監査報告の後承認されました。第2号議案では令和8年度の全国土地改良大会奈良大会の開催について諮られ、対応される土地改良区の準備、秋の行楽シーズン、正倉院展などを考慮し開催日を再考することとし、開催誘致が承認されました。議事後、男女共同参画の取り組みの一環として、全土連主催による女性理事の意見交換会(P11参照)に参加された上田美加子理事より参加報告がありました。



挨拶
奥野会長



来賓挨拶
奈良県食と農の振興部
乾部長



監査報告
永田監事



上田理事

奈良県農村地域づくり協議会のご紹介

ウォーク！ウォーク！ウォーク！

奈良県農村地域づくり協議会会員が主催する爽やかな秋の景色を楽しみながら歩く3つのイベントをご紹介します。協議会ホームページ (<https://nouson-nara.jp>) では、会員それぞれの地元の農村資源を活用した特色ある取り組みやイベントをお届けしています。ぜひご覧ください。

令和5年11月12日(日) **十市町の文化遺産を巡るウォーク** が開催されました。
(主催：十市町地域協議会)

橿原市十市町の地域資源(文化遺産)「3体の正覚寺仏像(県指定文化財)」、「7台のだんじり(市指定民俗文化財)」、「十市氏と城」について聴講した後、それらの文化遺産を実際に巡りました。ウォークでは、歴史や文化を感じながら、また、ウォーク終了後は、さつまいも掘り体験もでき、有意義な一日となりました。



講義の様子



ウォーキングの様子



さつまいも掘りの様子

令和5年11月19日(日) **秋の月ヶ瀬茶畑ウォーキング** が開催されました。
(主催：月ヶ瀬活性化協議会)

第2回

秋の月ヶ瀬茶畑ウォーキング EVENT

11/19 (日)

1町3集の山空を眺めながらクイズにチャレンジし紅葉の茶畑を歩く♪

イベント内容	所要時間 約1.2~2時間 距離 約4.5km 申込受付 申込締切令和5年11月13日(月) ※下記募集要項により申込できません(先着100名限定) 受付時間 9:45~10:15 (申込10:00~10:30) 集合場所 ロマントピア月ヶ瀬集合(奈良市月ヶ瀬長引707-1B) 参加費 大人 2,000円・小中学生 1,000円
申込方法	申込先 月ヶ瀬活性化協議会 TEL 0743-92-0810 (担当増田) MAIL mesuzo@gmail.com ※中止の場合は午前7時にHPに掲載します
特典	★夢っこ特製弁当 ★月ヶ瀬の新鮮な農産物のお土産付き ※こちらより



美しい紅葉の季節の月ヶ瀬を歩く、約4.5km、2時間弱のコース。月ヶ瀬活性化協議会長考案のクイズにチャレンジしながら、ワイワイとあつという間の時間でした。ゆめっこ特製弁当や月ヶ瀬の新鮮な農産物のお土産も付いて、お楽しみいっぱい、お徳がいっぱいのウォーキングイベントでした。

美しい茶畑の中をウォーキング

手作りのゆめっこ弁当は、豚汁と共に(へへ)



奈良県農村地域づくり協議会 P R 活動 実施

令和5年11月23日(木・祝) **第8回 葛城山麓ウォーク** において、奈良県農村地域づくり協議会活動組織のP R 活動を実施しました。協議会のパネル、関連商品の展示、案内チラシの配布を行いました。

葛城山麓ウォークは、奈良県農村地域づくり協議会会員の**葛城山麓地域協議会**が主催する葛城山麓地域の7つの集落を巡る約10kmのウォーキングイベントです。



展示の他にも **お楽しみ抽選会**を実施し、当選者の方々に協議会員の活動で生まれた農産物の加工品をプレゼントしました。ブースも大変賑わい、展示品に興味を持って見ていただくことができました。



月ヶ瀬活性化協議会

月ヶ瀬活性化協議会は、"奈良市の東方、大和高原地域にある月ヶ瀬地域で活動しています。月ヶ瀬は、大和茶の主な産地です。また2～3月になると、江戸時代から続く梅園「月ヶ瀬梅溪」に梅が咲き誇り、数十万人が訪れて賑わいます。協議会では、梅の時期以外も1年を通して賑わいをお届けするため、茶摘み、手もみ茶づくり、こんにやくづくり、芋掘りなどの地域の農を活かした体験メニューを用意し、都市農村交流に力を入れています。

【令和5年度のイベント】

- **茶摘み体験**：茶畑で手摘み体験と工場見学・一煎パック1袋の持ち帰り
- **さつまいもの収穫体験**
- **こんにやくづくり体験**：こんにやく芋からの手づくり体験
作りたてのこんにやくはその場で試食、残りは持ち帰り
- **餅つき体験**：杵と臼で餅つき体験
つくたてのお餅をその場で試食、残りは持ち帰り
- **手もみ茶(紅茶・緑茶)づくり体験**：茶畑で手摘み体験と工場見学・ホットプレートで手もみ茶(紅茶・緑茶)づくり、作ったお茶は持ち帰り
- **秋の月ヶ瀬ウォーキングイベント**：P15参照



餅つき体験

令和6年度も月ヶ瀬活性化協議会のイベントにぜひ、お越し下さい。イベントの実施時期などは、内容により異なりますのでロマンティア月ヶ瀬のHP (<https://romantopia.jp>)をご覧ください。(イベントの申込みは、ロマンティア月ヶ瀬の予約システムからネット予約できます。)

令和5年度 近畿水土里ネット連合協議会職員研修会に参加

令和5年10月31日（火）および11月1日（水）の2日間にわたり、滋賀県土地改良事業団体連合会において、令和5年度近畿水土里ネット連合協議会職員研修会が開催されました。

【研修内容】

◇オリエンテーション（滋賀県土地改良事業団体連合会 事務所）

滋賀県土地改良事業団体連合会の事務所にて、開催地挨拶とそれぞれの自己紹介がおこなわれました。

また、日本最大の湖である琵琶湖を要する滋賀県で、どのような農業がおこなわれ、土地改良が進められてきたのかという説明を講聴しました。



◇水葦土地改良区 視察（近江八幡市）



水葦地区は、もともと琵琶湖の内湖でしたが、昭和19年から26年にかけて食糧増産を目的に干拓事業が実施されました。地域の特性上、排水を1日も欠かすことができず、その維持のために賦課金が全国でも最高水準になっています。

第1・第2排水機場の2棟を所有していますが、第1排水機場は耐震性向上のため昨年度に更新が完了したところです。常時排水用の横軸斜流ポンプ（φ400mm、15m³/min）と臨時排水用ポンプ（同種、φ800mm、75m³/min）を備えており、ここから大規模な排水の必要性を窺い知ることができました。

◇意見交換会（長浜市まちづくりセンター 会議室）

滋賀県ため池サポートセンターが実施した防災訓練におけるハザードマップの活用事例や、京都府土地改良事業団体連合会のリモートによるため池監視システムの試験的な導入事例、インボイス制度導入にかかる実務についてなど、各団体の新しい取り組みや試み、また悩み事についての発表や意見交換をおこないました。



◇大井川1期工事 視察



当地区は、もともと県下有数の排水不良地で、昭和後期に排水・改良事業の施工が完了して幹線排水路が整備されていました。しかし、近年の開発により、下流域で冠水被害が続出したため、今回の工事に至りました。工事は、河川と河川をボックスカルバートなどで結ぶ内容で、平成27年採択、総事業費29億円に及ぶ大規模なものとなっています。

「未来へつなごう！ふるさとの水土里(みどり)子ども絵画展 2023」受賞作品

本年度開催された「未来へつなごう！ふるさとの水土里(みどり)子ども絵画展 2023」には、全国から3,021点の作品応募があり、その中から大臣賞等6作品、協賛企業・団体賞25作品、地域団体賞52作品、入選142作品、佳作175作品が選考されました。

奈良県内小学校からは21作品の応募があり、その中からNTC夢きり賞、ヤンマーアグリ賞、水土里ネット奈良 会長賞、の3作品が選ばれました。おめでとうございます。

ご応募をいただいた皆様、ありがとうございました。来年度もたくさんのご応募をお待ちしております。

【NTC夢きり賞】

「おじいちゃんとおばあちゃんのオクラ」
大和郡山市立治道小学校 4年生
村井 友樹 くん

おじいちゃんとおばあちゃんが、がんばってオクラをとっているのを伝えたかった。



【ヤンマーアグリ賞】

「稲刈りをする父」
宇陀市立大宇陀小学校 6年生
榎田 佳音 さん

お父さんが作ったお米が好きだから。



【水土里ネット奈良 会長賞】

「夕やけに立つ一本の木」
宇陀市立大宇陀小学校 3年生
岸本 雛花 さん

このきれいなけしきが、いつまでものこっていてほしい。



令和5年度行事予定

開催月	会議・行事名	開催(予定)場所
2月1日(木)	換地計画実務研修	大和平野土地改良区
2月14日(水)	農村振興シンポジウム	橿原文化会館
2月16日(金)	公益財団法人 農業振興会館 最先端農業を学ぶセミナー	NAFICセミナーハウス
2月19日(月)	奈良県土地改良事業団体連合会 監事会・理事会	大和平野土地改良区
2月19日(月)	公益財団法人 農業振興会館 理事会・功績者表彰審査会	大和平野土地改良区
2月29日(木)	奈良県農業農村整備事業推進協議会研修会	大和平野土地改良区
3月23日(土)	第64回 奈良県土地改良事業団体連合会 通常総会	大和平野土地改良区
3月23日(土)	公益財団法人 農業振興会館 令和5年度 農業振興功績者表彰式	大和平野土地改良区

※ 今後、変更する場合があります。

土地改良に関する法律相談

本会では、法的な判断が必要とされる案件について、当会の顧問弁護士による法律相談を行っておりますので、お気軽にご利用ください。

※県に対する許認可(定款変更の手続きなど)等の行政事務は除きます。

(案件例)

- ・売買した土地が未登記によりトラブルが生じた
- ・越境している樹木の剪定について隣人とのトラブルが生じた
- ・土地改良施設の管理に起因して第三者に損害を与えた等

実施日： 令和6年 2月21日(水)
令和6年 3月13日(水)

時間： 13:30~16:30

場所： 大和平野土地改良区事務所 3階会議室

弁護士： おおみね法律事務所 石黒 良彦 氏

問合せ先： 奈良県土地改良事業団体連合会 総務企画課 TEL:0744-29-1310

● 編集後記 ●

令和6年を迎えました。昨年は大変お世話になり、誠にありがとうございました。また、広報誌「奈良の土地改良」の作成にあたりご協力をいただいた皆様、ありがとうございました。今後も、より充実した内容で、多くの方々にお手に取っていただけるよう工夫して参りたいと思います。

本年は辰年ということで、天に昇る龍のように気持ちを上向きに仕事に取り組んでいきたいと思っております。これからますます寒くなりますがお体に気をつけてお過ごしください。本年も引き続きよろしくお願いたします。
(編集部)